

質 問 者 隅 田 翔

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 子育て支援パッケージについて	本町では、これまで数々の子育て支援策を打ち出し、出生率向上など子育て環境の充実を実現しています。これまでの取組のさらなる充実を図り町民をはじめ「子育てするなら女川」と思ってもらえるような、切れ目のない支援を一体的に実施する子育て支援パッケージが重要だと考えます。 以下の子育て支援策の実施について町長の見解を伺います。 (1) 保育所関連における無償化についてです。 第2子以降の保育料無償化。また、保護者と保育士の集金の負担軽減にもつながる遠足代、写真代、絵本代といった一律に必要な費用の無償化について見解を伺います。 (2) 病児病後児保育料、放課後児童クラブ利用料の無償化は利用料により躊躇せず安心してサービスを利用してもらえる環境づくりを実現します。実施検討について見解を伺います。 (3) これまでも議論されてきた小中学校給食費の完全無償化については、子育て支援の一体的な施策の一環として実施の見解を伺います。 (質問の相手：町長・教育長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 放課後児童クラブの拡充について	(1) 共働き家庭の増加により利用者は年々増加傾向です。夏休みだけ利用したいなどのニーズにも対応するための「サマー学童」や通常利用の受入人数の増加など安心して利用できる体制が必要だと考えます。今後の受入体制の強化について見解を伺います。 (2) 保護者からの要望を受けて、夏休みなどの長期休みに昼食を提供する自治体が増えています。また、子ども家庭庁では全国の自治体に「放課後児童クラブにおける食事提供について」検討を促す通知を出しています。給食提供や事業者を通じた配食サービスなどによる食事提供の検討を進めては。 (3) 現在、本町の保育所では18時30分までの延長利用が可能です。児童クラブでは18時までの利用です。このギャップは小1の壁と称されます。放課後児童クラブも時間延長を望む声があります。ニーズに沿った利用時間を設定し、利便性向上が必要と考えますが見解を伺います。 (質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 隅 田 翔

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 シルバー人材センターの 設置について	シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織です。センターは原則として市町村単位に置かれ、宮城県では本町を除いた全自治体で設置されています。高齢者の健康で生きがいのある生活に向けて、本町でも開設の検討を進めては。 (質問の相手：町長・担当課長)